記入上の注意事項

住所欄には、受給者が**1月1日現在居住している住所を記入してください。**

扶養親族の人数を記入してください。老人扶養・特別障害者で同居の方がいる場合は、同居の人数を内数で記入してください。

生計を一にする年齢19歳以上23歳未満の、扶養親族に該当しない親族等がいる場合、前年所得に応じた控除額を記入してください。

前職分の給与を合算して年末調整した場合は、前職の会社名（支払者名）と給与支払額・社会保険料・源泉徴収された所得税の金額を摘要欄に記入してください。

住宅借入金等特別控除の適用を受ける場合は、控除可能額・控除区分・居住開始年月日・年末残高等を記入してください。
また、特別特定取得・特定取得に該当する場合は、控除区分に「特特」「特」と併記してください。

控除対象配偶者、扶養親族の氏名と**個人番号を記入してください。**
控除対象扶養親族または１６歳未満の扶養親族が５人以上いる場合には、摘要欄に５人目以降の扶養親族の氏名を記入してください。

給与支払報告書（個人別明細書）

※　※種別　※整理番号　※

支払を受ける者　住所　※区分　（受給者番号）　（個人番号）　（役職名）　氏名　（フリガナ）

種別	支払金額	給与所得控除後の金額（調整控除後）	所得控除の額の合計額	源泉徴収税額
給与・賞与	内　円	円	円	内　円

（源泉）控除対象配偶者の有無等		配偶者（特別）控除の額	控除対象扶養親族の数（配偶者を除く。）						16歳未満扶養親族の数	障害者の数（本人を除く。）		非居住者である親族の数
			特定	老人		その他				特別	その他	
有	従有	円	人	従人	内　人	従人	人	従人	人	内　人	人	人

特定親族特別控除の額	社会保険料等の金額	生命保険料の控除額	地震保険料の控除額	住宅借入金等特別控除の額
円	内　円	円	円	円

（摘要）

生命保険料の金額の内訳	新生命保険料の金額	円	旧生命保険料の金額	円	介護医療保険料の金額	円	新個人年金保険料の金額	円	旧個人年金保険料の金額	円
住宅借入金等特別控除の額の内訳	住宅借入金等特別控除適用数		居住開始年月日（1回目）	年　月　日	住宅借入金等特別控除区分（1回目）		住宅借入金等年末残高（1回目）	円		
	住宅借入金等特別控除可能額	円	居住開始年月日（2回目）	年　月　日	住宅借入金等特別控除区分（2回目）		住宅借入金等年末残高（2回目）	円		

（源泉・特別）控除対象配偶者			配偶者の合計所得	円	国民年金保険料等の金額	円	旧長期損害保険料の金額	円
	氏名	区分			基礎控除の額	円	所得金額調整控除額	円
	個人番号							

控除対象扶養親族			区分	16歳未満の扶養親族			区分	5人目以降の控除対象扶養親族の個人番号
1	（フリガナ）氏名			1	（フリガナ）氏名			
	個人番号				個人番号			
2	（フリガナ）氏名			2	（フリガナ）氏名			
	個人番号				個人番号			
3	（フリガナ）氏名			3	（フリガナ）氏名			5人目以降の16歳未満の扶養親族の個人番号
	個人番号				個人番号			
4	（フリガナ）氏名			4	（フリガナ）氏名			
	個人番号				個人番号			

未成年者	外国人	死亡退職	災害者	乙欄	本人が障害者 特別	本人が障害者 その他	寡婦	ひとり親	勤労学生	中途就・退職 就職	退職	年	月	日	受給者生年月日 元号	年	月	日

支払者		
	個人番号又は法人番号	（右詰めで記載してください。）
	住所（居所）又は所在地	
	氏名又は名称	（電話）

（摘要）に前職分の加算額、支払者等を記入してください。

（市区町村提出用）

受給者の個人番号を記入してください。

１６歳未満の扶養親族の人数を記入してください(控除対象扶養親族に含めないようお願いします)。

普通徴収に該当する場合は、普通徴収切替理由書の該当符号を記入してください。

平成２３年１２月３１日以前に契約した生命保険・個人年金は「旧」欄に、平成２４年１月１日以降に契約した生命保険・個人年金は「新」欄に記入してください。保険料支払額を記入する欄です。控除額は「生命保険料の控除額」欄に記入してください。

社会保険料等の金額に、国民年金保険料・国民年金基金の支払金額が含まれている場合は記入してください。

配偶者特別控除を適用する場合は、配偶者の合計所得を記入してください。収入金額ではないのでご注意ください。

受給者が就職・退職した場合は記入してください。